

河内小学校通信

第49号

令和5年2月20日(月)

文責：校長 平塚 学

地域学校保健委員会を開催しました

2月9日(木)に、河内小学校にて逢瀬中学校区地域学校保健委員会を開催しました。その中で河内小学校の保健関係で全国平均と比較して課題として見てきたものを紹介します。

1つ目は視力です。裸眼視力1.0未満の児童が48.6%(全国平均36.9%)となっています。放課後の遊びの中心がゲームやテレビ視聴が主な原因と考えられます。

2つ目は耳の疾患です。耳に疾患を抱えている児童が20.0%(全国平均6.8%)とかなり多くの割合になっています。主な疾患は耳垢が多いとのことでした。

3つ目は目の疾患で、疾患のある児童が12.1%(全国平均6.8%)と、高くなっています。疾患についての通知が届いていると思います。ぜひ、春休みなど進級前の治療をお願いします。

最後に、増戸医院の増戸先生よりご指導がありました。

- 肥満の児童については、思春期肥満は成人肥満になりやすく、生活習慣病など様々な疾患につながる可能性があるため、児童期に運動習慣を身につけ、食生活の改善を図る必要があります。家庭と連携し改善を図ってほしい。
- 視力についてはめがねをかけても適正な視力になっていない児童生徒が多いとの報告から、視力低下の進行が速いことが原因なので、家庭でのゲームやテレビ、タブレット利用についてのルールを決め、利用時間を減らすよう家庭に呼びかけていく必要がある。
- コロナについては、症状が出る2日くらい前からウイルスが出て、感染させている。家庭内感染は、マスクなしでの会話や会食も原因だが、密かに歯ブラシ同士の接触や同じ歯磨き粉の利用やうがい後の飛沫の飛散も実はリスクがある。
- マスク着用について、まずはリスクが高い高齢者に感染させないことが大切。家族で陽性者が出たときは、全校生でマスクを着用することも考えられるのではないかな。

とのことでした。



逢瀬茶屋の佐藤さんより寄付をいただきました

2月7日(火)に逢瀬茶屋の佐藤さんが来校され、河内小学校の児童のために使ってくださると寄付をいただきました。児童用図書を購入することにしましたので、保護者のみなさんにご報告します。

ありがとうございます
ございました



なわとび記録会を行いました

2月14日(火)の2校時、全校生でなわとび記録会を行いました。

まず、学年ごとに種目跳びです。1・2年生から順に、2分間に自分で決めた種目を何回跳べるか挑戦しました。跳んだ数を数えるのは5・6年生でした。1年生にとっては初めての記録会でしたが、みんな記録更新目指してがんばりました。5・6年生は2つのグループに分かれて、挑戦しました。さすがに高学年になると、はやぶさなどに挑戦する子も見られました。

最後の種目は、持久跳びでした。自分の学年数×1分間跳び続けられるかの挑戦でした。みんな最後まであきらめずに跳びました。中には、自分の学年×1分間以上跳び続ける児童も見られました。どの子もよく頑張った持久跳びでした。

子どもたちは、今回の記録会まで、朝の時間や体育の時間に一生懸命なわとび練習に取り組んできました。ご家庭でも、感想など聞いてみてください。



ふくしまっ子体力・健康優秀校表彰

14日(火)、福島市にある中町ビルにて「令和4年度 ふくしまっ子体力・健康優秀校表彰式」が開催され、県教育長より、ふくしまっ子体力・健康優秀校の表彰を受けました。ふくしまっ子体力・健康優秀校とは県内の学校で体力テスト等体力向上に成果のあった学校です。普段の朝マラソン、持久走記録会、朝のなわとび、なわとび記録会、外遊びの奨励により、成果があったと認められました。賞状は、玄関入って正面に飾りましたので、授業参観等で来校する際にもご覧ください。

